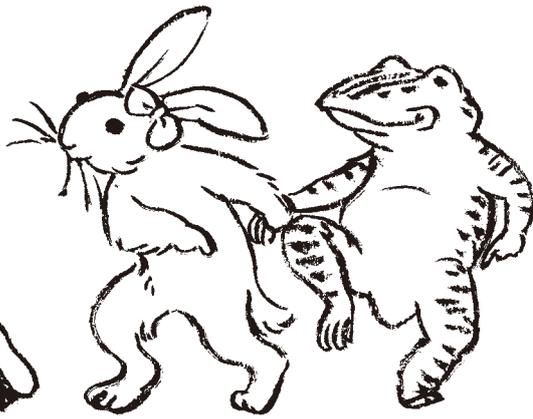
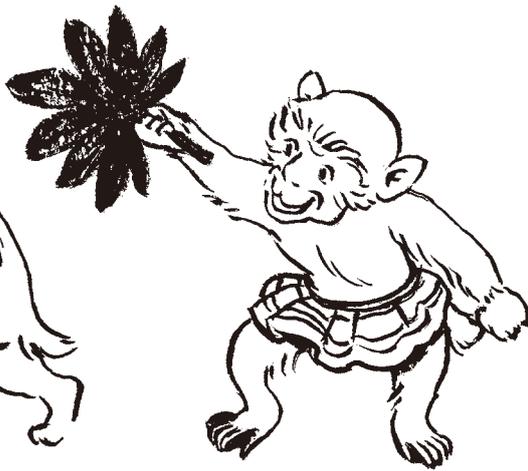


湯前 × 戯画

ギガタウン

テラタウン

ここの史代の「漫符図譜」この世界の片隅に「から10年



GIGA TOWN from TERA TOWN
a catalog of manga symbols
by KONO FUMIYO
Yunomae Manga Museum

2021

10/1 〔金〕



12/19 〔日〕

開館時間_9:30-17:00

会期中無休_新型コロナウイルス感染拡大の状況により臨時休館となる場合があります。

会場_湯前まんが美術館

熊本県湯前町1834-1

0966-43-2050

料金_(高校生以上)300円、(小中学生)100円、(幼児)無料

主催_湯前まんが美術館

協力_朝日新聞出版/

京都国際マンガミュージアム/

京都精華大学国際マンガ研究センター

©この史代/朝日新聞出版

湯前まんが美術館
Yunomae Manga Museum 那須良輔記念館

KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

KYOTO SEIKA UNIVERSITY INTERNATIONAL MANGA RESEARCH CENTER

湯前まんが美術館ではこのたび、「この世界の片隅に」等で知られるこの史代の「ギガタウン 漫符図譜」(朝日新聞出版)を紹介する展覧会を開催します。

マンガ独特の表現記号である「漫符」を、くテラタウン=京都が誇る国宝「鳥獣人物戯画」(高山寺蔵)のキャラクターを現代風にアレンジし、解説する本作。展覧会では、その貴重な原画をご覧くださいととも、「漫符」の、ひいてはマンガ表現そのものの豊かな世界を深掘りして解説します。

■「漫符」の世界を知る

マンガが日常にあふれる日本で人々は、漫符を、だれに教わるでもなく理解し、読み解き、場合によっては、自分の気持ちを伝えるコミュニケーション言語として使いこなしています。

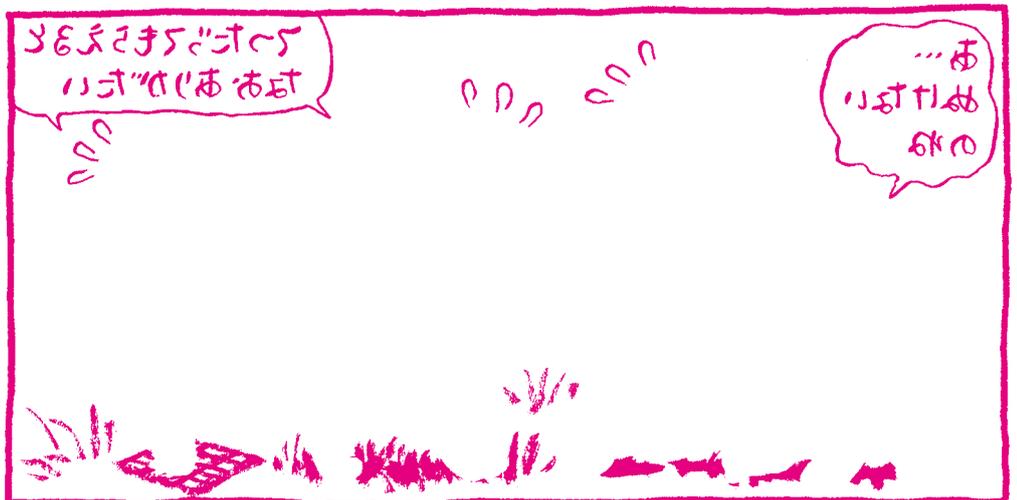
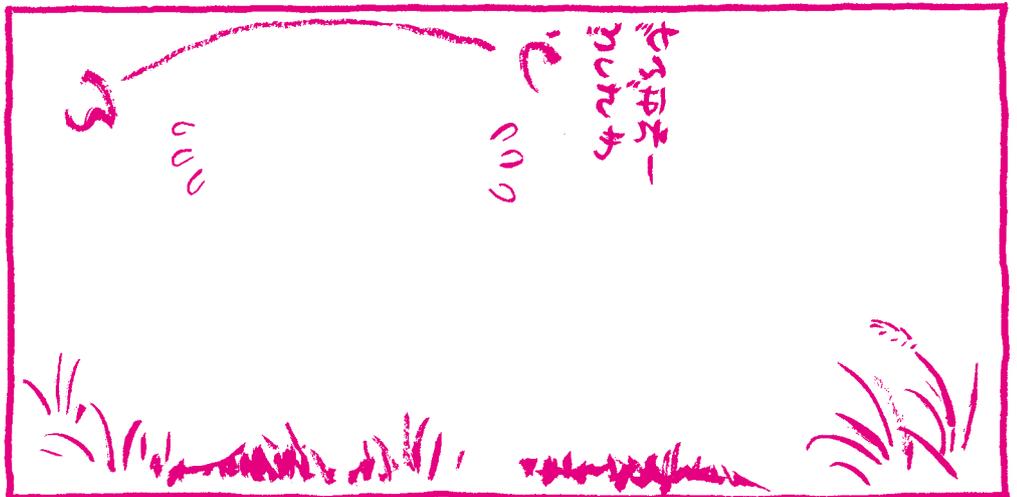
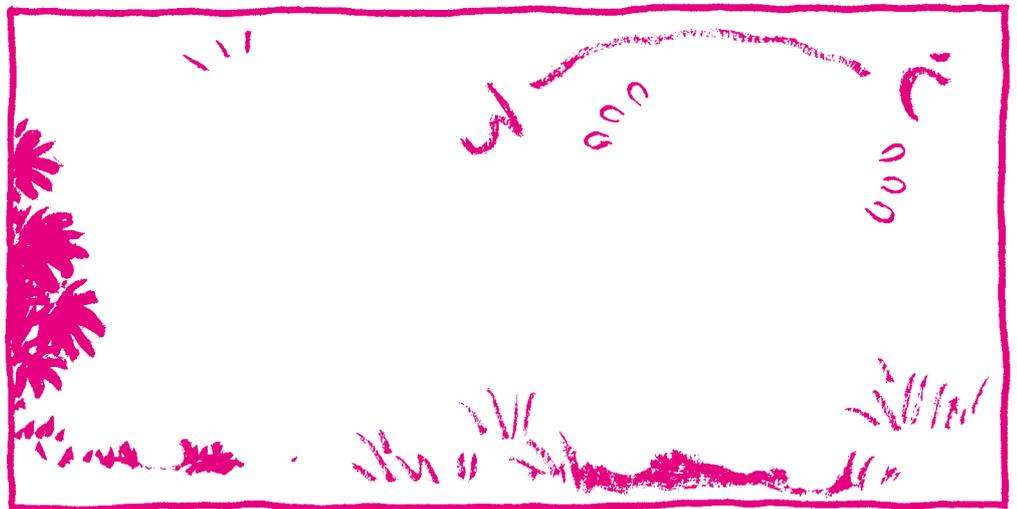
展覧会では、「ギガタウン 漫符図譜」で紹介されているよく知られた10の漫符を取り上げ、それらの歴史や古今東西の使用例を紹介するなどして、詳しく解説します。漫符を体感できる写真撮影コーナーも。



写真はSNSで共有いただけます。

■原画を味わう

ひとつの漫符を1ページの4コママンガで解説する「ギガタウン 漫符図譜」。その原画を一堂にご覧いただけます。作者のこの史代は、一作ごとに作品テーマに合わせた表現的な仕掛けや画法を試みている、挑戦的なマンガ家です。原画からその生の筆致を感じていただくことは、そうした工夫を新たに発見できる絶好の機会となるでしょう。



関連イベント オリジナルグッズ販売

展覧会に合わせ、マスキングテープや手ぬぐい、トイレットペーパーやTシャツ、ポストカード等のオリジナルグッズを販売します!(数量限定)



※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

この史代(この・ふみよ)

1968年、広島市生まれ。1995年、「街角花だより」でデビュー。2005年、「夕凧の街 桜の国」で第9回手塚治虫文化賞新生賞、第8回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞を受賞。10年に第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞した「この世界の片隅に」は、片渕須直監督による劇場版アニメーションも大きな話題に。「長い道」や「こっこさん」、「平凡倶楽部」や「ぼおるぺん古事記」(平成25年度古事記出版大賞 稗田阿礼賞受賞)など、著作多数。